

	内 容
事務局	<p>開会</p> <p>平成 29 年度第 2 回恵庭市中小企業振興審議会及び平成 29 年度第 4 回恵庭市中小企業振興審議会基本計画推進管理専門部会の合同会議を開催する。本日は審議会委員 12 名のうち過半数を超える 9 名の出席を頂き、専門部会においては委員 13 名のうち過半数を超える 10 名の出席を頂いていることから、審議会及び専門部会の会議が成立していることをここに報告する。</p> <p>専門部会委員の皆様にご依頼を市長より交付させて頂く。任期は平成 30 年 2 月 13 日から平成 32 年 2 月 12 日の 2 年間となる。</p>
	<p>原田市長より各専門部会委員へ委嘱</p>
原田市長	<p>市長挨拶</p> <p>本年は計画策定後の中間年であり、計画の達成度を測るための目標値を設定する年となっている。引き続き、審議会委員・専門部会員の皆様のご意見をいただきながら、取組を進めて参りたいと考えているので、よろしくお願いしたい。</p>
事務局	<p>議事</p> <p>ここからの議事進行は、審議会会長にお願いする。</p>
会長	<p>(1) 専門部会部会長・副部会長選出</p> <p>専門部会部会長・副部会長の選出について、事務局より説明をお願いする。</p>
事務局	<p>恵庭市中小企業振興審議会専門部会規則第 5 条の規定に基づき「委員の互選により、部会長 1 名、副部会長 2 名を選出する」ことになっている。</p>
会長	<p>この事について、意見はないか。</p>
委員	<p>事務局案の提案をお願いする。</p>
一同	<p>意義なし。</p>
事務局	<p>専門部会の部会長には A 委員、副部会長には B 委員、C 委員を事務局案として提案する。</p>
一同	<p>事務局案で意義なし。</p>
会長	<p>委員のご承認を頂けたので、A 委員を専門部会の部会長に、B 委員と C 委員を副部会長に決定する。</p>

	<p>～部会長、副部会長の就任挨拶と各委員の自己紹介～</p> <p>報告</p> <p>(1) 今後のスケジュール及び事業アイデアの反映状況について</p> <p>【平成30年度スケジュール】</p> <p>事務局 資料①に今後のスケジュールを記載している。本日の会議終了後、平成30年5月に第1回専門部会を開催し平成29年度における各施策への事業アイデアの反映状況を報告する。その後、6月と7月に専門部会を開催し、平成31年度の事業アイデアについて議論頂く。そして、8月の審議会で審議を頂いた後に、予算要求を行っていく。また、本年度は恵庭市中小企業振興基本計画策定後の中間年となっており、計画最終年の平成32年度に向けて数値目標の検討や成果について議論を重ねたいので、ご協力をお願いします。</p> <p>【事業アイデアの反映状況】</p> <p>事務局 資料②、③に事業アイデアの市の施策への反映状況を記載している。頂いた意見やアイデアを集約した上で、各事業に反映できるように予算要求を行った。</p> <p>～質疑応答～</p> <p>委員 Q. 新聞等で札幌市が連携中枢都市圏の形成を検討しているが、自治体レベルでの枠組みの取扱いはどうなるのか。</p> <p>事務局 A. 今まで交付金を利用して実施していた広域圏の事業を、札幌市が中枢都市となり近隣の市町村（石狩管内と小樽市・岩見沢市・南幌町・長沼町）と連携して事業を行う。連携中枢都市圏内の全ての市町村と連携するのではなく、札幌市・恵庭市・千歳市や、札幌市・恵庭市・小樽市といった、連携中枢都市間であれば自由に連携できるものとなっている。</p> <p>また、中枢都市とは関係なく、資料②の観光関係事業で、千歳市・北広島市・恵庭市でドライブルートの設定等をすすめている。アイデアを頂く上で市単独ではなく、近隣市町村を組み入れた形の事業であれば、連携中枢都市圏等も活用していきたい。</p> <p>委員 Q. 台湾事業の進捗と成果を伺いたい。台湾からの誘客だけでなく、恵庭から台湾を訪問する事業等はあるのか。また、恵庭を訪れた観光客向けに物販や記念切手の販売等を始めてみるのはどうか。</p> <p>事務局 A. 平成27年度から市長自らトップセールスを開始し、恵庭市の魅力を伝えるべく平成28・29年度には恵庭市単独の商談会等を実施している。その甲斐もあり、えこりん村とルルマップ自然公園ふれらんどにおいて観光ツアーが決定する等、一定の成果を出している。恵庭日台親善協会も立ち上がり、親善協会が中心となって恵庭から台湾への訪問事業等も検討しているところである。</p> <p>物販は検疫の関係で輸出できるものとできないものがある。記念切手の販売については貴重な</p>
--	---

	ご意見として、今後の専門部会等で検討していきたい。
委員	新事業の開始や新制度の整備も検討してほしいが、道の補助金や中小企業総合支援センターの活用等といった、既存の制度も視野に入れた上で取り組んでほしい。
委員	「小規模事業者持続化補助金」は補正も含めて 100 億の予算が措置されている。まもなく募集を開始するのでぜひこの機会にご活用頂きたい。
事務局	<p>(2) 恵庭市中小企業振興基本計画の中間年アンケート調査について</p> <p>平成 28 年 1 月に策定された本振興基本計画は成果指標を設定しており、数値目標の検討・数値に現れない成果等について、中間年度の平成 30 年度と最終年度の平成 32 年度にアンケート調査を実施すると定めている。しかし、本年度に当アンケート調査の予算要求をした所、予算措置がなされなかったため、平成 28 年度に実施している「恵庭市中小企業経営改善調査」結果等を活用することで、中間年における目標設定を行いたい。今後の専門部会において、数値目標等の検討を実施するので、委員の皆様にはご協力をお願いする。</p> <p>その他</p>
委員	Q. ニュージーランドのティマル市と姉妹都市を結んでいる事は市民に周知されており、山口県の和木町と姉妹都市、静岡の藤枝市と友好都市を結んでいる。その他に友好都市はあるのか。
事務局	A. 中国の貴楊市と国際交流を行っている。
事務局	2 月 15 日（水）に市で事業承継セミナーを開催する。実際の事例を交えた有意義なセミナーであるので、ぜひ参加いただきたい。
事務局	基本計画策定時にはあまり触れられていなかったが、事業承継と人手不足が顕在化している。委員の皆様にご協力を頂き、これらの問題に取り組んでいきたい。 市内の(有)ミズキ産業が、従業員の株式取得の融資を受け、事業承継へと実を結んだ。
委員	今後 10 年間に平均引退年齢である 70 歳を超える経営者は 245 万人おり、うち半数は後継者が決まっていない状況であり、国をあげて事業承継に取り組まなくてはならない。引き続き、時代に即したセミナーを実施してほしい。
委員	先ほどの(有)ミズキ産業の事例は、北海道で初めて金融支援の認定を受け融資を行い、従業員に株式を取得させ事業承継を成功させた。このように、様々な融資制度や保障協会があるので、活用して頂きたい。
委員	消費税が平成 31 年度より 10%になる見込みで、中小企業において経営悪化が懸念される。

委員	<p>こういった経済状況を鑑みながら議論を進めていきたい。</p> <p>平成 29 年度より「北のふるさと事業承継支援ファンド」を設立・運営している。また、マーケティングにおける外国への特許申請等の助成を行っている。6次化への相談窓口等も設けているので、当支援センターを利活用していただきたい。</p>
会長	<p>今まで説明もあった通り、既存の補助金を活用していただきたい。</p>
委員	<p>平成 30 年度より IT 補助金の幅が広がるので、もっと積極的に勧めていきたい。消費税転嫁対策事業として各種セミナーや軽減税率対策等を実施していく。</p> <p>閉会</p> <p>以上で、平成 29 年度第 2 回目の恵庭市中小企業振興審議会及び平成 29 年度第 4 回恵庭市中小企業振興審議会基本計画推進管理専門部会を閉会する。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>